

様式1【申し合わせ事項】：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 南部 豊 〕

【留意事項】

東員町議会 議員研修

2023年 (令和5) 8月 31日  
四日市大学 小林 慶太郎 先生

地方議会改革の論点と課題

- ① 新しい知見を吸収する
- ② (既知っていることであっても) どう伝えるかの参考にする
- ③ (講師などの話が分かりにくかったら) 反面教師にする

住民の皆さんに

何のために、どのように なぜ改革するのかを説明する必要がある。

今回の研修では

通年議会性への取り組みと役職任期の2年制についてが、主題であったと思います。

- ・研修テーマに即した所感としては、

通年議会の東員町議会としての必要性は以前から議論はされていたが、個々の議員の思いや考え方に同一方向性のまとまらない現実がある。私自身も、現段階での方向性については、もっと掘り下げた議論が必要であると思っています。

議長の任期についても、2年任期にすると限られた議員が議長を務めるということになりかねない。1年任期でも当議会には、再任を妨げないという取り決めもあり、2年任期にしなくてもよいということです。

- ・今後、研修で得た知識等について、町議会活動にどのように反映するかでは

研修を受けた後でも、説明されている事例が市議会・県議会の事例が多く、当然、予算規模、議員定数の違いもあり、受け入れにくい内容であったと思います。

町民の中には、相当高い見識の方もお見えになるとは思いますが、その方との議論となれば私自身の考え方をお話し、ご理解頂けるように努力していきます。

- ・私たちには、4年ごとの選挙という、住民の審判に委ねることになります。それが全てだと思っています。

以上